

# Information

## 申込について

[参加対象] 幼児教育・保育・子育て支援関係者、行政関係者、研究者、学生、青少年教育施設職員、自然体験活動団体や森林環境教育団体等のスタッフ、森のようちえんに関心のある方

[定員] 全日程参加定員 300 名 / 日帰り参加定員 80 名(各日)

[申込] ホームページ内の専用申込フォームよりお申込みください。

- 全日程参加(ネットワーク連盟会員) 8/25(金)~
- 全日程参加(一般) 9/1(金)~
- 日帰り参加 9/8(金)~

**申込フォーム** <http://morinoyouchien.org/forum2017> **申込〆切 10/6 (金)**

※先着順です。定員になり次第締切とします。(参加決定及び分科会案内をメール送付します)分科会の参加決定は事務局で調整・決定いたします。

## 参加費

全日程 一般：21,000 円 / ネットワーク連盟会員：18,000 円

日帰り参加 8,000 円 / 1 日

情報交換会費 (4 日夕食含む) 5,000 円 / 小学生 2,500 円 / 幼児 1,000 円 (全日程参加者優先)

※食事は施設内レストラン等で各自お取りください。

※キャンセル料：10/27(金)以降のお取消しについては参加費の全額のキャンセル料をいただきます。

## 宿泊について

会場内 国立オリンピック記念青少年総合センター宿泊の場合は、2泊 6,400 円です (先着 200 名)。

※申込フォームよりご予約ください。※宿泊部屋に限りがございます。他のビジネスホテル等ご利用ください。

※相部屋になる場合がありますのでご了解いただき申込ください。

## フリー分科会について

フリー分科会は、初日 (3 日夜) に行われます。フリー分科会の実施可否の決定は締切後、10/10 迄にお知らせします。フリー分科会とは、参加者が実施者となる自由参加のショート分科会です。ご自身の活動や特技をぜひ、ご紹介ください。

## TOPICS

11/2 (木) 12:00 より、森と自然を活用した幼児期からの多様な体験活動を推進する自治体連携フォーラムが行われます。

お申込・お問合せ先：長野県県民文化部次世代サポート課 (担当：竹内)

Email: takeuchi-nobuhiko-r@pref.nagano.lg.jp

## Access

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区 代々木神園町 3 番 1 号)



JR 東京駅から  
JR 中央線 約 14 分 新宿駅乗り換え、小田急線 各駅停車 約 3 分、「参宮橋駅」下車 徒歩約 7 分  
小田急線  
「参宮橋駅」下車 徒歩約 7 分  
地下鉄千代田線  
「代々木公園駅」下車 (代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分  
羽田空港から  
東京モノレール 約 23 分 浜松町駅乗り換え、JR 山手線 (外回り) 約 23 分 新宿駅乗り換え  
小田急線 各駅停車 約 3 分、「参宮橋駅」下車 徒歩約 7 分  
京急本線 約 16 分 品川駅乗り換え、JR 山手線 (外回り) 約 23 分 新宿駅乗り換え  
小田急線 各駅停車 約 3 分、「参宮橋駅」下車 徒歩約 7 分  
成田空港から  
JR 総武線 成田エクスプレス 約 80 ~ 90 分 新宿駅乗り換え  
小田急線 各駅停車 約 3 分「参宮橋駅」下車 徒歩約 7 分  
京王バス  
新宿駅西口 (16 番) または渋谷駅西口 (40 番) より、「代々木 5 丁目」下車

## お申込・お問合せ

第 13 回森のようちえん全国交流フォーラム in 東京実行委員会事務局 (受付事務局日本シェアリングネイチャー協会)

☎03-5363-6010 fax03-5363-6013 mail forum2017@morinoyouchien.org

# 2017

森のようちえん  
全国交流フォーラム in 東京

そとあそびが変える  
子どもの育ちと  
社会の未来

2017.11/3 (金)・4 (土)・5 (日)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
(東京都渋谷区 代々木神園町 3 番 1 号)

## Welcome!

フォーラム実行委員会より

第 13 回を迎える森のようちえん全国交流フォーラム。今年は東京開催です。

地域に根ざした森のようちえん活動は、親子のみならず、地域に暮らす多世代の人びとが、日常生活を営む中で交流できる貴重な場を提供できる可能性を持っています。

この特徴を最大限活かして、行政とも連携しな

がら、地域を変える、地域の顔となれる、森のようちえんを願っています。

さあ、森のようちえんをキーワードに、さまざまな立場の人が集まり、今の社会へ、日本へ、世界へと発信し、高め合しましょう。

実行委員長 藁谷久雄

主催 「森のようちえん全国交流フォーラム 2017in 東京」 実行委員会

共催 NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟

特別協賛 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

協賛 コールマンジャパン株式会社 株式会社モンベル

協力 パタゴニア日本支社

森と自然を活用した幼児期からの多様な体験活動を推進する自治体連携フォーラム実行委員会

森のようちえん 検索



# Keynote Speech 11/5(日) 12:30-14:30

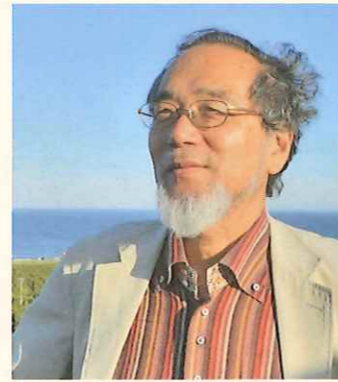
## 基調講演 汐見稔幸氏

「自然に触れることが人間にもたらすものは」

### ●汐見稔幸 (しおみ・としゆき)

専門は教育学、教育人間学、育児学。育児学や保育学を総合的な人間学と考えていて、ここに少しでも学問の光を注ぎたいと願っている。また、教育学を産出、育児を含んだ人間形成の学として位置づけたいと思っていて、その体系化を与えられた課題と考えている。三人の子どもの育児にかかわってきて、その体験から

父親の育児参加を呼びかけている。保育者たちと臨床育児・保育研究会を立ち上げ定例の研究会を続けている。また同会発行のユニークな保育雑誌『エデュケーレ』の責任編集者でもある。東京大学大学院教育学研究科教授を経て、現在、白梅学園大学教授・学長。



# Spechial Talk session 11/5(日) 12:30-14:30

## 特別対談 上遠恵子氏 (エッセイスト) × 小西貴士氏 (森の案内人 / 写真家)

今、『センス・オブ・ワンダー』を読み直す～翻訳者、恵子おばあちゃんの遺言～



### ●上遠恵子 (かみとお・けいこ)

1929年生れ。エッセイスト。レイチェル・カーソン日本協会会長。東京薬科大学卒。1974年、ポール・ブルックス『生命の棲家』(後に『レイチェル・カーソン』と改題)を訳出。以来カーソン研究をライフワークにする。訳書にカーソン『センス・オブ・ワンダー』『海辺』『潮風の下で』などがある。



### ●小西貴士 (こにし・たかし)

森の案内人であり、写真家。八ヶ岳南麓にて汐見稔幸氏と共に「ぐうたら村」という、自然に抱かれた保育者の学びの場を主宰。森や野原で子どもたちと過ごしながら、子どもを含む命をテーマに写真を撮り続ける。



# Schedule

## 1日目 11/3(金)

- 10:00 受付
- 11:30- 開会式 & オリエンテーション 各自昼食
- 13:15-14:45 分科会 A
- 15:15-16:45 分科会 B
- 各自夕食 宿泊者チェックイン
- 19:00-21:00 フリー分科会 (公募型のショート分科会)

## 2日目 11/4(土)

- 9:30-11:00 分科会 C 各自昼食
- 12:30-14:00 分科会 D
- 15:00-16:30 分科会 E 休憩
- 18:30-20:30 懇親会/情報交流会 NPO 法人設立式典 (国際交流棟にて)

## 1日目 11/5(日)

- 9:30-11:00 分科会 F 各自昼食
- 12:30-14:30 ●基調講演 汐見稔幸氏 ●特別対談 上遠恵子氏 & 小西貴士氏
- 14:30-15:00 閉会式

# Proglam For Kids

## ●外遊びプログラム「森のてらこや～江戸キッズ～」

森のようちえんに携わる保育者団体「森のようちえん青年部」が、子どもたちと江戸ごっこをしながら東京の自然を身近に感じ遊びます。

### 【対象・定員】

幼児(年少～年長) 30名  
小学1年生～6年生 20名(申込先着順)

### 【主な活動場所】

オリンピックセンター野外活動広場、代々木公園、明治神宮

### 【日程と費用】

11/3(金) 9:45～17:00 / 3,500円(弁当持参)  
11/4(土) 8:45～17:00 / 4,000円(野外炊飯代含む)  
11/5(日) 8:45～15:30 / 4,000円(野外炊飯代含む)

【申込】外遊びプログラム受付フォームから

http://urx.mobi/EQz5

【問合せ】2017moriyoforum.camp@gmail.com

フォーラム参加者のお子さん預かります!



## ●託児

分科会開催中、イベント保育の経験豊かなチャイルドマインダーが責任をもってお預かりいたします。

【対象・定員】 1～2歳 15名 / 1コマ

【費用】 1コマ(90分) 2,000円  
お子様1名(当日お支払のみ)

【申込】 託児受付フォームから  
http://ur0.link/EPbQ

【問合せ】 forlum2017takuj@gmail.com



## 分科会一覧

■行政 ■社会化 ■子どもの本質 ■運営 ■暮らし ■実践例 ■外遊び ■安全

各分科会の詳細はホームページにて、紹介しています

## 11/3(金)

A 13:15～14:45  
B 15:15～16:45  
19:00～21:00 フリー分科会 (公募型のショート分科会)

A-5 13:15～14:45  
「森のようちえん」の視点と日々の暮らし  
都留市野外共同保育はねっこ 梅崎奈津子

A-10 13:15～14:45  
園庭が大自然に! ネイチャーゲームを保育に生かす  
遊心/ネイチャーゲームトレーナー 峯岸由美子

B-3 15:15～16:45  
森のようちえんの「保育の質」とは?  
new education Little Tree 野村直子

B-8 15:15～16:45  
スライドショー「野から支える育ちの詩(うた)」  
森の案内人・写真家 小西 貴士

## 11/4(土)

C 9:30～11:00  
D 12:30～14:00  
E 15:00～16:30  
18:30～20:30 懇親会/情報交流会 NPO 法人設立式典

C-5 9:30～11:00  
森のようちえん ハーモニーマニエーションの実践例～大切にしたいこと～  
森のようちえんハーモニー 川添萌子

D-1 12:30～14:00  
子どもを育む おとなの繋がり  
りんごの木子どもクラブ 柴田愛子

D-6 12:30～14:00  
どう変わる? 保育の場としての都市公園  
東京都建設局東部公園緑地事務所 竹内智子

E-2 15:00～16:30  
都会の森のようちえん～地域に根差した保育実践～  
もあなキッズ自然楽校 関山隆一

E-8 15:00～16:30  
子どもの脳とこころを元気に育てる～アドラー心理学の立場から～  
山梨県立大学 坂本玲子

F-4 9:30～11:00  
幼稚園教育要領・保育所保育指針の改定とこれからの「森のようちえん」のあり方について  
上越教育大学大学院 山口美和

A-1 13:15～14:45  
森と自然を活用した幼児期からの多様な体験活動を推進する自治体の現状と展望 ①  
森と自然を活用した幼児期からの多様な体験活動を推進する自治体担当者

A-6 13:15～14:45  
森は友だち～森と生きる～暮らしを考える～  
森びとプロジェクト委員会 高橋佳夫

A-11 13:15～14:45  
「見守り・待つ保育の原点～森のようちえんさんぽみちより～」  
ネイチャーマジック 野沢俊崇

B-4 15:15～16:45  
都会でもこどもと楽しめる! 自然の恵みを活かした暮らし  
マザーツリー自然学校 中安敬子

B-9 15:15～16:45  
初歩から学ぼう～リスクマネジメントと安全管理マニュアル  
日本アウトワード・バンド協会 田中賢人

C-1 9:30～11:00  
世界に広がる森のようちえんムーブメント  
ネイチャーセンター 野あそび保育みっけ 内田幸一

C-6 9:30～11:00  
森のようちえんの運営をざっくりと考える会  
キッズNPO 吉本卓生

D-2 12:30～14:00  
「しぜん こども いのち おとな」～山の遊び舎はらべこの実践とその広がり～  
山の遊び舎はらべこ 小林成規

D-7 12:30～14:00  
第三者を交えた野外保育のインシデント検証～ハイキング中のロスト(子どもを見失う)事例から～  
アウトドア共育事業部 渡辺直史

E-3 15:00～16:30  
森のわらべ流「信じて待つ保育」～とこ子ども育つ力を信じる～  
森のわらべ多治見園 浅井智子

E-9 12:30～14:00  
火を育む～ネイティブアメリカン火の教えとナイフの使い方  
WILD AND NATIVE 川口拓

F-5 9:30～11:00  
福島の子どもたちを連れて米沢へ  
青空保育たけの子 辺見妙子

A-2 13:15～14:45  
「野生」「感性」「知性」「理性」... 森のようちえんを通して「育ち・教育」の社会化を考える  
くろこま高原自然学校 育青大学 佐々木豊志

A-7 13:15～14:45  
共に育つ 森のインクルーシブ活動 森のようちえん × 療育の実践報告  
かごしまの森のようちえん 市川雪絵

A-12 13:15～14:45  
森のようちえん 最適ギアのススメ①～モンベル発信道具講座～  
モンベル 設楽文昭

B-5 15:15～16:45  
「自然」で育つ子どもたち  
札幌トモエ幼稚園 宮武大和

B-10 15:15～16:45  
森のようちえんがもたらす、森のようちえん以外の効果と効果  
いぶり自然学校 上田融

C-2 9:30～11:00  
この日限定開講! 「森のようちえんゼミナール」  
森の案内人・写真家 小西 貴士 関東学院大学 久保健 和光保育園 鈴木秀弘

C-7 9:30～11:00  
信州やまほいく(信州型自然保育)の理念と実践  
長野県県民文化館 竹内延彦 とくし保育園園長 水野辰也

D-3 12:30～14:00  
「五感体験」と「わちあい」がキーワード～ネイチャーゲームを学ぼう～太陽幼稚園/ネイチャーゲームトレーナー 園田恵一 美方高原自然の家/ネイチャーゲームトレーナー 田中賢人

D-8 12:30～14:00  
「岐阜県と森のようちえんぶつちやけトク!」～県担当者と一緒にふりかえる、森のようちえんが盛んなったわ!～  
岐阜県森林文化アカデミー 萩原裕作 岐阜県 河合高志

E-4 15:00～16:30  
田舎だから、小さいからこそできることもある! 「地域循環型社会への挑戦」  
認定こども園めぐま 井上直

E-5 15:00～16:30  
「ブチ森のようちえん体験」  
森のたんけんたい 小林直美

F-6 9:30～11:00  
子どもたちの森の学びづくり～山梨県都留市・東桂保育園、岡地保育園、長生保育園、青葉幼稚園4法人のつながりと特色と課題とこれからの都留市宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター 佐藤 洋

A-3 403 13:15～14:45  
旅で出会った子ども達  
武蔵野美術大学 関野吉晴

A-8 13:15～14:45  
自然保育で「教育」をどのように行うか～森の幼稚園や保育園など自然保育における教育実践  
日本自然保育学会会長 上原真夫

B-1 15:15～16:45  
森と自然を活用した幼児期からの多様な体験活動を推進する自治体担当者  
森と自然を活用した幼児期からの多様な体験活動を推進する自治体担当者

B-6 15:15～16:45  
都会の中の「森のようちえん」  
コロロ学舎こころ子ども探検隊 太田裕美

B-11 15:15～16:45  
アメリカで開発された幼児向けEEプログラム グローイングアップ・ワイルド体験会  
公園財団 川原 洋

C-3 9:30～11:00  
子育てしながら子育て支援～都会の田畑とつながる谷保の暮らし～  
森のようちえん 谷保のそらこ 佐藤有里

C-8 9:30～11:00  
「五感体験」と「わちあい」がキーワード～ネイチャーゲームを学ぼう～太陽幼稚園/ネイチャーゲームトレーナー 園田恵一 美方高原自然の家/ネイチャーゲームトレーナー 田中賢人

D-4 12:30～14:00  
森のようちえんの続け方  
Fuji こどもの家バンビの森 横田聖美

D-9 12:30～14:00  
原始の火おこし体験～ネイティブアメリカン火の教え  
WILD AND NATIVE 川口拓

E-6 15:00～16:30  
幼稚園や保育所に森のようちえんを売り込むための作戦会議  
飯田女子短期大学 田中佳幸

F-2 9:30～11:00  
親御さんとの関係性を見つめる～親は園の運営・保育・経営を共に担うパートナー～  
森のわらべ多治見園 浅井智子

F-8 9:30～11:00  
生きものを「みる・ふれる」から育まれるもの  
生徳教育センター 村松聖希子

A-4 13:15～14:45  
非日常型森のようちえん運営のアレコレ～2つの団体事例より～  
国際自然大学校 小比類巻友紀子 日野社会教育センター 小林清美・伊藤依理子

A-9 13:15～14:45  
子どもをどうとらえる? そして関わり方と活動の組み立て  
ネイチャーセンター 野あそび保育みっけ 内田幸一

B-2 15:15～16:45  
「私たちは森を選んだ～はじめた想いと森で過ごしてきた10年で分かった事～」  
緑とくらしの学校 森のようちえん てくてく 小菅江美

B-7 15:15～16:45  
子どもたちを育てる里山のチカラ  
NHKエンタープライズ 小野泰洋

C-4 9:30～11:00  
森のようちえん 最適ギアのススメ②～モンベル発信道具講座～  
モンベル 設楽文昭

C-9 9:30～11:00  
こどもの「遊ぶ」をとらえなおす  
TOKYO PLAY 嶋村仁志

D-5 12:30～14:00  
木育の視点から見た自然保育の効果について  
埼玉大学教育学部 浅田茂裕

E-1 15:00～16:30  
ドイツの「森の幼稚園」教本(1.ミクリツツ)に学ぶ、森林・自然を活用した幼児教育の理論的基礎～教本の全編翻訳が見えてきた教育理論と実践の枠組み～  
国土緑化推進機構 木俣知大

E-7 15:00～16:30  
子どもも保育者も喜び合い、育ち合う～長野県安曇野から「くじら雲」の自洗を通して～  
菅野の山里 くじら雲 依田敬子

F-3 9:30～11:00  
国が支えている笑顔満開デンマークの森のようちえんの子どもたち  
日野社会教育センター 中藤孝則

F-9 9:30～11:00  
環境教育としての森のようちえんの可能性～活動の多様性とESDに注目して～  
広島文教女子大学 杉山浩之



2017

森のようちえん  
全国交流フォーラム  
in 東京

報告書

そとあそびが変える  
子どもの育ちと  
社会の未来

2017.11/3 (金)・4 (土)・5 (日)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
(東京都渋谷区 代々木神園町3番1号)

